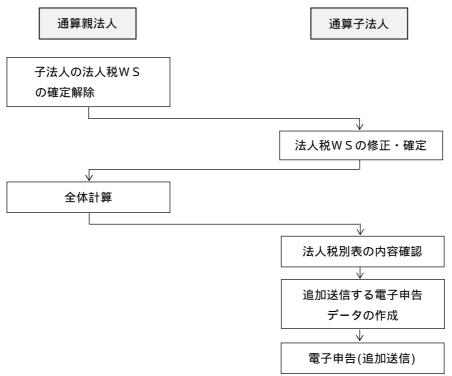
子法人が法人税データを追加送信する場合の処理手順

- ② 通算子法人で納付税額に影響のない別表の提出漏れがあることが判明したので、当該子法人分の別表の追加送信を行いたいと考えています。どのように処理すれば良いでしょうか?
- A 通算親法人と通算子法人が以下の手順で処理します。



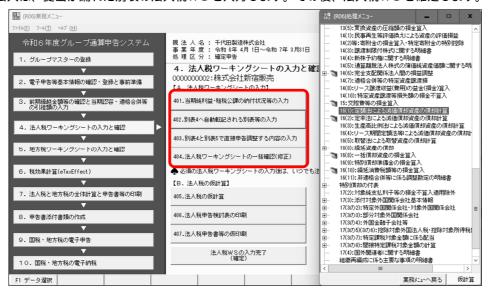
(1) 子法人の法人税WSの確定解除 親法人

通算親法人は、[各法人の処理状況の確認]において、追加送信が必要となった通算子法人分の法人税WSの確定を解除します。なお、電子申告データの確定解除は不要です。



(2) 法人税WSの修正・確定 子法人

通算子法人は、提出が漏れた別表の法人税WSを入力します。その後、法人税WSを確定します。



(3) 全体計算 親法人

通算親法人は、メニュー701で全体計算を行います。



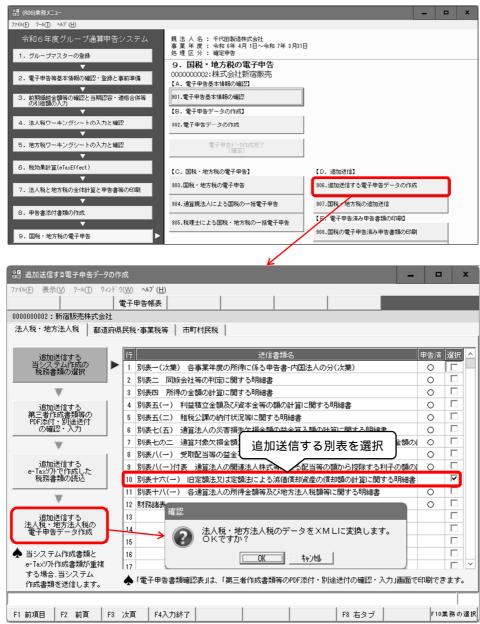
(4) 法人税別表の内容確認 子法人

通算子法人は、メニュー704で追加送信する別表の内容を確認します。



(5) 追加送信する電子申告データの作成 子法人

通算子法人は、メニュー906において追加送信する電子申告データを作成します。



(6) 一括電子申告(追加送信) 子法人

通算子法人は、メニュー907において、電子申告データを追加送信します。



(参考)追加送信に関する注意事項

1. 追加送信の対象となる書類

追加送信の対象となる書類は、納付税額に影響のない記載誤りのある書類()や提出漏れの書類に限られます。

()地方税の追加送信では、提出(送信)済みの書類に対する差し替え・訂正は行えないこととされています。仮に、提出(送信)済みの書類の差し替え・訂正のために同一の書類を追加送信した場合、その取り扱いは提出先団体の判断によるとのことです(提出先団体にご確認ください)。

2. 追加送信できない書類

以下の書類は、追加送信の対象外です。

- 別表1・別表19
- 第6号様式・第6号の3様式
- 第20号様式・第20号の3様式

3.PDFファイルで提出できない書類

別表()、財務諸表、勘定科目内訳明細書は、PDFファイルで追加送信できません。

()システムで作成した法人税別表のうち、e-Taxソフト仕様が未公開のため、システムで自動作成したPDFファイルについては追加送信できます。また、システムで作成した地方税別表のうち、eLTAX仕様の明細数超過等で、システムで自動作成したPDFファイルについても追加送信できます。